

## 岡山城と後楽園

### —岡山後楽園築庭300年記念特別展を終えて—

岡山県立博物館の眼前にある「特別名勝岡山後楽園」では、今年築庭300年祭事業として各種イベントが催されています。県立博物館では、この事業に協賛して、2月4日(金)から3月5日(日)まで特別展「岡山城と後楽園」を開催いたしました。

全国の大名庭園を代表する岡山後楽園は、藩主池田綱政の命令を受けた津田永忠らによって、17世紀後半から18世紀初頭を中心に築庭されました。この展覧会では、後楽園の約300年の歴史と文化を振り返り、大名庭園とは何かを考えようとなりました。

展示は、①岡山城の歴史、②歴代岡山藩主と津田永忠、③後楽園の歴史と文化、④全国の主な大名庭園という4つの大きなテーマに分けました。①では岡山城の歴史と構造を、絵図・絵画類と近年の発掘成果による出土遺物から説明、②では藩主一人一人の個性を際立たせ、親しみを持っていただけるような資料を中心に選定しました。③では後楽園に関する絵図・文書とともに、江戸期に園内で使用されていた調度品や藩主の庭園利用が具体的に分かる資料を展示し、初公開の品々が数多く並べられました。④では兼六園・偕楽園・栗林公園など、他の大名庭園にかかわる資料を全国から集めました。

300年祭の影響もあり、多くのマスコミによって展覧会が報道され、多数の方々に観覧していただきましたことはたいへんありがた

いことでした。とくに、初公開となった、築庭間もないころに描かれた、約5m四方の「御茶屋御絵図」の大きさや現在とはいくぶん違う築庭当初の様子に、多くの観覧者が驚きを感じていたようです。

展覧会を通じて感じたことは、大名庭園の中でも、岡山後楽園ほど質・量ともに豊富な資料を伝えている庭園はないということでした。これらの貴重で豊富な資料を大名庭園の研究に役立て、岡山後楽園のさらなる豊かな歴史を創造していくとともに、後世に伝えていかなければならないと思われま

す。なお、会期中の2月11日には、就実女子大学教授神原邦男氏による「後楽園と岡山藩主」と題する講演会を開催しました。

最後に、ご出品を快諾下さいました資料所蔵者の方々をはじめ、ご指導・ご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。



展示解説

# [平成11年度事業報告]

## 赤韋威鎧国宝指定記念特別展

### 岡山の甲冑

平成11年6月5日～7月4日

本館所蔵の赤韋威鎧が国宝に指定されたことを記念し、同鎧をはじめ県下に伝わる各時代を代表する防具類を多数展示した。

#### 出品目録

(●は国宝 ○は重要文化財 ○印は県指定重要文化財)

- 南方遺跡出土木製鎧と楯 弥生中期 岡山市教育委員会
- 鹿田遺跡出土木製短甲 古墳初期  
岡山大学埋蔵文化財センター
- 随庵古墳出土衝角付兜付短甲  
古墳中期 総社市教育委員会
- 八幡大塚古墳出土挂甲 古墳後期 文化庁
- 赤韋威鎧 兜 大袖付 附唐櫃1合  
平安末期 岡山県立博物館
- 佐々木盛綱一番乗りの図絵馬 (三好雲仙筆)  
明治初期 倉敷市 両兒神社
- 源平合戦図屏風 江戸中期  
広島県 耕三寺博物館
- 赤銅魚子地高彫色絵哺金宇治川合戦図小柄 (後藤程乗)  
江戸前期 個人
- 赤銅魚子地高彫色絵義経弁慶安宅関図縁頭  
江戸前期 個人
- 鉄地丸形肉彫地透象眼義経八艘飛図鐔 (鐵元堂)  
江戸中期 個人
- 赤銅魚子地高彫色絵源平一の谷合戦図縁頭  
江戸中期 個人
- 赤銅魚子地高彫色絵源平一の谷合戦図縁頭 (藻柄子宗典)  
江戸中期 個人
- 法然上人絵伝 (複製・原本国宝)  
(鎌倉時代) 岡山県立博物館
- ◎色々威甲冑 南北朝時代  
邑久町 豊原北島神社
- 色々威甲冑修理時展開図 江戸後期 岡山県立博物館
- 黒韋威大鎧 大袖付 附鉄形  
南北朝時代 牛窓町 五香宮
- 三繫 (胸繫・腹繫・尻繫) 南北朝時代 牛窓町 五香宮
- 手網 南北朝時代 牛窓町 五香宮

- 紺糸威胴丸 室町時代 個人
- ◎藍革威肩白腹巻 室町時代 牛窓町 遍明院
- 頭形兜鉢 室町時代 牛窓町 遍明院
- 阿古陀形十二間黒漆塗練革筋兜  
室町時代 牛窓町 遍明院
- ◎喉輪 室町時代 牛窓町 遍明院
- 黒漆塗六枚張突盃型頭形兜鉢  
室町時代 岡山県立博物館
- 黒漆塗金箔押四枚張鉄板二段鞆桃形兜鉢  
室町時代 岡山県立博物館
- 阿古陀形兜鉢 室町時代 岡山県立博物館
- 紫糸威腹巻 室町時代 岡山県立博物館
- 紫糸威最上胴腹巻 室町時代 岡山県立博物館
- 紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足  
戦国時代 邑久町 大賀鳥寺
- 伊豫札紺糸威胴丸具足 桃山時代 和気町 由加神社
- 紺糸威胴丸具足 桃山時代 和気町 由加神社
- 日の丸金箔押紺糸威二枚胴具足  
桃山時代 高梁市歴史美術館
- 赤黒片身替白糸威二枚胴具足  
江戸初期 高梁市歴史美術館
- 浅葱糸威本小札具足 江戸前期  
岡山市 足守文庫保管

#### 特別展

### 日本五ヶ伝名刀展

平成11年10月15日～11月14日

日本刀の分類には、直刀で代表される上古刀と、平安中末期から室町末期の古刀および慶長から江戸末期の新刀と分類する時代別変遷がある。これを縦糸でとらえるとするならば、もう一方に横糸として地域的特質から分類する方法がある。それを全国的に見ると、品質、生産力の点で指導的役割を果たした主要産地は相模 (鎌倉)、美濃 (岐阜)、山城 (京都)、大和 (奈良)、備前 (岡山) であり、それぞれ違った特質を持っている。これを五ヶ伝といっている。縦糸、横糸を知って初めて日本の文化の中での日本刀、あるいは備前刀を知ることにもなる。今回は五ヶ伝の名刀を展示した。

企画展

「岡山の薬」

平成11年4月29日～5月30日

現在私たちが使っている化学薬より以前にも、日本人の暮らしに根付いた薬が古くから存在していた。各家庭で伝えられた民間薬や寺院や医者が代々秘伝として作った家伝薬は、無医村が当たり前だった時代に、医薬を特権階級だけの世界から解放し、人々を病気の恐怖から解放していった。岡山でも、万代常閑の返魂丹、総社市を中心に作られた備中売薬などすぐれた和漢薬が多くの人々を病気の苦しみから救った。しかし、こういった薬は戦後の化学薬の隆盛で壊滅的な打撃を受け、急速に消え去ろうとしている。そこで、岡山に伝わる家伝薬を紹介し、人々の知識の宝庫であり、私たちの生活や伝統を支えてきた家伝薬を見直した。

主な展示資料

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| らんびき         | 個 | 人 |
| 薬箱 佐藤陶崖使用薬箱  | 個 | 人 |
| 11代万代常閑像     | 個 | 人 |
| 延壽返魂丹看板      | 個 | 人 |
| 宮内金瘡 大看板     | 個 | 人 |
| 癩疽薬 上袋・実物    | 個 | 人 |
| 藤村膏薬 唐人膏実物   | 個 | 人 |
| 山田膏薬 萬能膏薬 上袋 | 個 | 人 |
| 七寶丸 上袋・実物    | 個 | 人 |
| 豆田の小児丸 上袋・厚袋 | 個 | 人 |
| 中北膏薬 打撲膏 上袋  | 個 | 人 |
| 神宝丹 実物入り上袋   | 個 | 人 |
| たこ薬 厚袋・上袋    | 個 | 人 |
| 免許品目台帳       | 個 | 人 |
| 懸場帳(4冊)      | 個 | 人 |
| 柳行李          | 個 | 人 |

総社市まちかど郷土館  
サンテツ



佐藤陶崖使用薬箱

企画展

「岡山の青銅器」

平成11年7月24日～8月29日

青銅器は、もともと金色に輝く銅と錫の合金で、弥生時代の銅鐸・銅剣や古墳の石室に供えられた銅鏡など、さまざまな種類がある。日本には鉄器とほぼ同時期に中国大陸・朝鮮半島から伝えられた。鉄器が実用の道具として発達したのに対して、青銅器は、おもに宝器・祭器あるいは権威の象徴として使用された。地中に埋もれた後、青銅器はその名のおり青く錆び、発掘調査などで再び人々の前にあらわれた時には貴重な考古資料となる。

この企画展では、岡山県内で出土した青銅器を、特に発掘調査資料を中心に、関連資料もあわせて一堂に展示し、青銅器からみた岡山の文化や技術の歩みを考えてみた。



銅  
鐸  
  
左 右  
岡山市兼基出土  
岡山市雄町出土

主な展示資料 (○は県指定重要文化財)

- 岡山市高塚遺跡出土銅鐸 岡山県古代吉備文化財センター
- 岡山市安仁神社裏山出土袈裟襷文銅鐸 岡山市 安仁神社
- 勝央町植月出土銅鐸 津山市教育委員会
- 岡山市津島遺跡出土銅鐸形土製品 岡山大学
- 笠岡市笠岡湾干拓地出土銅戈 笠岡市教育委員会
- 岡山市天神山1号墳出土三角縁仏獣鏡 瀬戸内考古学研究所
- 岡山市千足古墳出土巴形銅器 岡山市教育委員会
- 柵原町月の輪古墳出土銅鏃 柵原町教育委員会
- 北房町大谷1号墳出土環頭大刀 北房町教育委員会
- 岡山市金蔵山古墳出土筒形銅器 倉敷考古館
- 岡山市吉備中山竜王山出土経筒 岡山市 吉備津彦神社
- 倉敷市安養寺第二経塚出土誕生仏 倉敷市 安養寺

## 博物館講座 「岡山県の歴史と文化」

本講座は、岡山県に伝えられる文化遺産を正しく理解し、継承していくため、できるだけ実物資料に触れながら、郷土の歴史と文化を学習するものです。例年多くの方々に参加をいただき、好評を得ています。

本年度の現地見学会は、赤穂浪士ゆかりの播州赤穂を訪れました。赤穂市立歴史博物館を出発点に、赤穂城跡などを歩き、大石神社義士史料館や花岳寺を見学しました。

### 講座内容

| 開講日         | テーマ   | 講師             |
|-------------|---|----------------|
| 6/11<br>(金) | 吉備を掘る<br>—考古学と発掘調査—                             | 学芸員<br>小松原基弘   |
|             | 後楽園の築造とその特色                                     | 館長<br>加原 耕作    |
| 6/18<br>(金) | 中世文書を読む   | 学芸員<br>三宅 克広   |
|             | 岡山の仏教美術   | 学芸員<br>中田利枝子   |
| 6/25<br>(金) | 現地見学<br>播州赤穂を訪ねて<br>(赤穂市立歴史博物館・<br>大石神社義士史料館ほか) | 現地講師<br>本館学芸員  |
| 7/2<br>(金)  | 岡山の薬  | 学芸員<br>木下 浩    |
|             | 岡山の甲冑   | 総括学芸員<br>臼井 洋輔 |



現地見学 (赤穂市立歴史博物館)

## 平成12年度事業のお知らせ

### ○「岡山県の歴史と文化」

春季展 平成12年3月11日(土)～5月21日(日)  
 夏季展 平成12年5月25日(木)～9月3日(日)  
 秋季展 平成12年9月8日(金)～11月5日(日)  
 冬季展 平成12年11月11日(土)  
 ～平成13年2月25日(日)

### ○企画展「赤羽刀展」

平成12年4月21日(金)～5月21日(日)

### ○企画展「30年前のおかやま」

平成12年7月20日(木)～9月3日(日)

### ○特別展「江戸時代の教育と閑谷学校」

平成12年10月6日(金)～11月5日(日)

### ○特別展「平城京跡出土品展」

平成13年1月26日(金)～2月25日(日)



平城京出土木簡(複製)  
 原品 奈良国立文化財研究所

### ○博物館講座「岡山県の歴史と文化」

平成12年6月9日～6月30日(毎週金曜日)

岡山県立博物館だより No.53

発行日 平成12年3月31日

発行者 岡山県立博物館

館長 加原 耕作

岡山市後楽園1-5

☎(086)272-1149

ホームページアドレス

<http://www.pref.okayama.jp/>

[kyoiku/kenhaku/hakubu.htm](http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm)